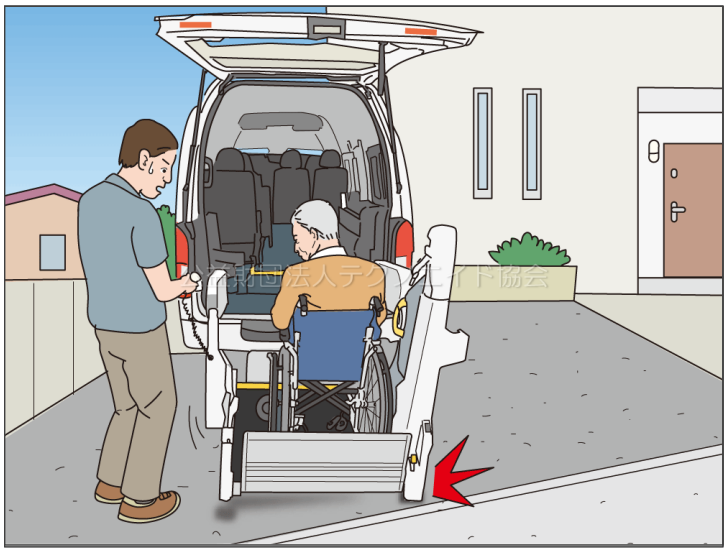
Case：418

傾斜地でリフトを操作したところ故障した

場面の説明

左右の高さに差が大きい傾斜地でリフトを下ろした際、片方が最初に接地したが、そのまま操作し続けたところ動かなくなってしまった



利用シーン	乗り物
主な利用場所	その他
介護保険の種目	ー
分類コード(CCTA95)	121218 (自動車用車いすリフト)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

福祉車両のリフトには油圧式や機械式など複数の種類がありますが、いずれの機構でも左右の負荷に差が大きいと故障の原因となります。また、このような地面での利用は、車いす乗り込み部に段差が生じたり、車いすの走行が不安定になるなど好ましいとは言えません。悪い条件で無理に介助を行おうとすることで事故は発生しやすくなるので、日頃から路面状況などの環境にも気を配り安全な送迎を心がけましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：左右の高さの差で機械が故障してしまうとは考えていなかった
環境：近くに平らに駐車できる適切な送迎場所が無かった
管理：送迎計画に余裕が無く、安全な場所に車を移動させる時間が無かった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.